



林野庁 北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション 第36号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

雷別地区自然再生事業地における 野生動物自動撮影調査結果（自動撮影カメラによる撮影調査速報）



当ふれあいセンターでは、雷別地区自然再生事業地において2月4日～2月25日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。カメラ設置箇所は昨年12月の調査と同じ9箇所とし、獣道や歩道沿いなど動物が通りそうな箇所に設置しました。

調査の結果は、デジタル式カメラを使用した箇所では、気温の低下により自動撮影の動作が鈍くなった関係で、ウサギの足跡とウサギを1枚ずつ撮影できた程度でした。アナログ式カメラ（フィルム撮影）は現在現像中です。



自動撮影カメラ設置状況



ウサギの足跡



ウサギ

北の国森林づくり技術交流発表会開催

平成22年1月28日（木）～29日（金）の2日間「平成21年度北の国森林づくり技術交流発表会」が、北海道森林管理局会議室で開かれました。

今年度から「国民の森林」部門が新たに設けられ、これまでの「森林技術」部門、「森林ふれあい」部門と合わせ3部門で発表が行われました。発表課題数は、「森林技術」部門が10課題、「森林ふれあい」部門が16課題、「国民の森林」部門10課題、計36課題が発表されました。

当センターからは「森林ふれあい」部門に2課題発表し、当センターの自然再生への取組や釧路湿原自然再生協議会を通じた取組について発表しました。審査員や会場からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

当センターからの発表課題

「雷別地区自然再生事業地における土壌凍結の実態について」（発表者 渡辺自然再生指導官）

「ワンダグリングダプロジェクトの取組とふれあいセンターの活動」（発表者 國井自然再生指導官）

森林環境教育支援のお知らせ

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

当センターでは、平成22年度も森林環境教育に係わる支援の取組を行います。
22年度、環境学習の取り入れをお考えいただく参考になればと思い、21年度実施した支援の内容を紹介いたします。

支援内容は、50分程度を1単元として、2単元、3単元の組合せで実施いたします。

1単元の場合

森林の働きを紙芝居又はスライドにより学習します。

森林の働きは・・・



2単元の場合

1単元に加え、野外で校庭の樹木を利用し樹木の名前や特徴を学習します。

3単元の場合

1・2単元に加え、野外で校庭の樹木の太さや高さを測り、炭素貯蔵量の算出を学習します。

この木の特徴は・・・



この木の名前は・・・



その他

「花炭づくり」や「学校菜園での苗木栽培」などの体験学習も用意しています。

花炭作成中



ク리가炭になりました



ドングリを植えて苗木の栽培



平成22年度も是非、環境学習の取り入れをお考えいただき、当センターをご利用・ご活用下さい。
なお、経費等は一切かかりませんので、お気軽にふれあいセンターまでご相談下さい。

(電話 0154-44-0533 担当：國井)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp